

会員企業紹介
わが社の
イチオシ

無垢で建てる こだわりの新築



草処建設(株)

草処 晋一 氏(伊勢崎支部所属)

Q & A

▼会社概要

桐生市新里町で一般木造住宅や店舗などの設計・施行・リフォームを行っている会社です。大工八名体制により、ほとんどの仕事を自社施行で対応させていただいております。

もともと実家は農家でしたが、父が棟梁として家づくりを始めました。私も小学校のころから現場に連れて行かれ、釘打ちなどをさせられた記憶があります。高校卒業後、夜間大学に通いながら職人として家業に入り、二十五歳で一級建築士の免許を取得。三十五歳で家業を継ぎました。

当社には「モックの家」という愛称があります。木↓もく↓



もつく↓モックという具合に、木へのこだわりを親しみやすく表現しています。

▼イチオシのPRを

無垢材を使った家づくりが当社のイチオシです。私には「家は木材でなければならぬ」という想いが強くあります。自分たちと共に育った地元の木で、木の香りのする家に住んでいただきたいと心から思っています。

お客様との入念な打合せ(多くは二〇回以上)を重ね、ご希望の家に最適な木材を自社倉庫から選ぶところから家づくりをスタートさせます。プレカット(機械で構造材を加工)が一般住宅の主流になっていますが、墨付けや刻みも自社大工が行うなど、職人技が光る細部へのこだわりと、目の行き届いた責任の持たせ味です。

瓦屋根のライン、大黒柱の風格、木肌の柔らかさ。古来から伝わる日本建築は、長い歳月に耐えうる本物の美しさがあります。こうした本格和風住宅



は、当社が創業当時からもっとも得意とする家づくりです。

▼無垢材へのこだわり

使っていた時期もありましたが、その冷たさに違和感を感じていました。そして、小さいころに見た現場の温かい木のぬくもりを思い出し、「無垢材で家を建てて行こう」と心に決めたのです。

まずは自宅で無垢材を使った家づくりに着手し、持てる技術と想いを駆使して完成させました。現在も自宅兼モデルハウスとしてお客様をご案内させていただいています。

無垢材はひび割れや曲がりが起こりやすく扱いが難しいため、一朝一夕で技術は身につけません。以前、「TVチャンピオン」という番組から出演オファーをいただき、数寄屋造り(日本伝統の建築様式)に挑戦しました。その際、自社技術への自信を深められたことも転機になったと思います。

▼課題

県産材の有効活用、機械化による大工の減少と技術の落ち込みは、当社だけでなく県内建築業全体にとっても課題と感じています。日本建築の素晴らしさを、その技術を後世にどう残していくかを真剣に考えなければなりません。

木にこだわった家づくりは、どうしても価格が高くなってしまいがちです。お客様の満足度はそのままに、コストを抑えた家づくりも私たちに課せられた使命だと思っています。

▼今後の展望

当社の経営理念「職人精進」家を建てることに誇りを持つ。その精神は現場だけでなく社員全員が保持し、そのための勉強・努力をし続ける」を大切に、これからも地域に根ざした真正正銘の「良い仕事」を心掛けていきます。

後継者はしばらく先の話になると思いますが、末永い会社の繁栄はもちろん、木へのこだわりも一緒に受け継がれて行くようにしたいです。

所在地 / 桐生市新里町新川171
連絡先 / TEL 0277-74-1682
URL / <http://www.kusadokoro.co.jp/>